

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：キッズパートナー弘明寺	種別：認可保育所
代表者氏名：阿井広美	定員（利用人数）： 60名（48名）
所在地：〒232-0063 横浜市南区中里1-21-1	
TEL：045-715-3661	
ホームページ：https://www.care-partner.com/service/childcare/gumyouji/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成30年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ケアパートナー株式会社	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員： 6名
専門職員	（専門職の名称） 名
	施設長： 1名 保育士： 15名
	調理師： 4名 保育事務： 1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：6室 トイレ：13 調理室：1（21.00㎡） 事務室：1（13.28㎡）
	（設備等）園庭：有

③理念・基本方針

【保育理念】

子どもたちの未来のために「生きる力」を育みます。

【基本方針】

1. 情緒の安定が図れる、安全で安心して過ごせる最良の環境を提供します。
2. たくさんの遊びや体験を通し、好奇心や想像力、表現力を育てます。
3. たくさんの人とのふれあいから、明るく元気に挨拶できる子を育てます。
4. 自分でやりたい、という気持ちを大切に自立心を育てます。
5. たくさんの優しさを注ぎ、思いやりのあるやさしい豊かな心を育みます。

④施設・事業所の特徴的な取組

乳児は入園児の物品購入や入園準備の必要が無く、全て園で用意し、名前付けから洗濯まで園で行い、育児支援を行っている。
幼児も殆どの物を園で用意して保護者の負担を軽減している。
自園で手づくりの給食とおやつを提供している。重度のアレルギー児への対応もしっかりと行われている。
経験豊かな調理スタッフによる様々な工夫により、残す子も少なく、おかわりをして食べる子が多い。
毎月、食育イベントを開催して経験豊かな保育士と調理師との連携により、年齢問わず楽しめる内容となっている。
外部講師による体操教室、英語教室を行っている。
貸出絵本コーナーがあり、毎月、絵本係が管理し、それぞれのクラスで人気の絵本を取り揃えている。
家庭に持ち帰り、親子で楽しめるよう、クラスだより等でもお薦めの絵本を紹介している。
子育て支援員の経験のある保育士がいる為、開園当初より子育て支援には力を入れて取り組んでおり、コロナ禍になる前は育児相談、育児講座の開催をして、地域の親子にも好評となっていた。
園長が障害児保育に取り組んでいた経験があるため、要配慮児の保育には力を入れて取り組んでいる。
外部機関とも連携し、要保護児も受け入れ、虐待防止にも力を入れている。
一時保育や年度限定保育も行っており、待機児童の緩和に力を添えている。
地域に根差したコミュニティーの一部になるよう、町内会に入り、様々な地域の行事に参加している。
園児もこの地域の子が殆どなので、顔を覚えてもらったりすることで、就学した際に、地域の人に見守って頂けるよう配慮している。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年6月10日（契約日） ～ 令和4年4月4日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点
1) 保育の質の向上に向けた優れた取組
園長は毎月クラス会議や乳児会議、幼児会議、配慮児会議を行い、各クラスの現状を把握しています。それぞれの課題についての改善策を一緒に考え、子どもにとって最善の利益は何かを問い、解決に導いています。職員一人ひとりの資質・専門性の向上に向け「個別目標」等、目標管理の取組が適切に行われています。経験年数7年以上の職員はキャリアアップ研修に取り組み、「専門リーダー」の資格を全員が取得するなど、専門知識・技能の向上に努め、子どもを尊重した保育に取り組んでいます。

2) 地域社会との交流・連携
園では育児講座や育児相談会、貸出絵本等を開催し、地域の子育て世代の生の声を聞くことに取り組んでいます。開園当初からコミュニティーの一員になる事を目指して取り組んでおり、町内会との連携で町内会会報に1年間、園の保育の様子が記事として掲載されました。毎月の「弘明寺プレイパーク」での交流や、「みなっち駅伝」（南区全保育

園参加)、夏祭りや七夕、「ハロウィンパレード」等を行い、交流を楽しんでいます。クリスマスには近隣の白髭の老人がサンタ姿でプレゼントを配り、1月は老人会の方々が、めんこ・こま回し等を披露してくれ、子どもたちはお礼に歌を披露して交流しています。要保護児等のケースでは南区役所、児童相談所、療育センター、母子支援施設等とカンファレンスを行い情報を共有し連携を図っています。

3) 支援体制の充実

乳児は入園時の物品購入がなく、幼児も園で使用するほとんどの物を園で用意するため、保護者の負担軽減につながっています。法人は介護事業を幅広く展開しており、保育所についても介護施設同様に、子どもたちが園で使用するもの(帽子・スモック・文房具・午睡用毛布、タオル)に園が名入れをして準備しています。用意された物には子どもごとに名前と自分専用のシールが貼られ、まだ文字が読めない子でも自分のシールで見分けることができ、自分の物を選んで使用できるように工夫が施されています。

◇改善を求められる点

1) 保育に関わる実習生等の専門職研修・育成の実施

開園して4年目で、まだ実習生を受け入れた実績がありません。今後ますます必要とされる保育士の育成に向け、横浜市とその周辺地域も含めた大学や短大・専修学校との連携を深め、実習生を受け入れることが期待されます。また、実習内容全般を計画的に学べるようなプログラムを策定・用意し、研修・育成に取り組まれることも期待されます。

2) 保護者支援

保護者とは、コミュニケーションを取るよう努め、保護者からの相談等に対しては傾聴し、信頼関係を築くよう取り組んでいます。コロナ禍により、個人面談は行っていますが、保護者懇談会は中止となっています。個人面談は、内容により、園長・主任が、職員に助言したり、面談に同席して対応する場合がありますが、保護者からのアンケートでは相談・要望への対応についての評価が低い状況です。更なる取組や工夫により保護者の声を集め、要望や悩みに対応することが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園して4年目で初めて第三者評価を受審致しましたが、保育・運営に関わることをあらゆる角度から検証する機会を得られたことで改善点が見えてきたことは園にとって大きな利益となりました。

保護者の方にもお忙しい中、アンケート等ご協力頂き、感謝申し上げます。貴重なご意見として真摯に受け止め、今後のより良い保育の為に生かしていきたいと思っております。

今回の評価で、明確になった改善点は、保育に関わる実習生等の専門職研修・育成の実施という点ですが、本社事業部と協議の上、実習内容全般を計画的に学べるようなプログラムを

策定し、必要とされる保育士の育成に取り組んでいきたいと思っております。

また、課題点である保護者支援についてはコロナ禍において希薄になってしまっていた部分もありましたので、コロナ禍でも出来る事を見つけて工夫して取り組んでいきたいと思っております。

また、優れていると評価された点については自信を持ち、これからも継続していけるよう努力したいと思っております。

最後になりましたが、キッズパートナー弘明寺の保育運営を丁寧に評価して下さったフィールズの皆様に心より感謝申し上げます。

今後も安心安全な保育運営に精進致します。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり